



## 阪神タイガース優勝セールに参加 宝石商の櫻井彩子さんが

櫻井さんは梅田の阪神百貨店による阪神タイガース優勝記念セールに出展し、9千円のビジョンブレードのルビーリングと2千200円のビジョンブレードのルビーのネックレスを紹介していたのだ。

櫻井さんによると、元々関西初のPOPUPが17日から阪神百貨店で決まっていて、その流れから阪神タイガースの優勝のタイミングが合えば参加できるという条件が重なったとのこと。

関西市場初進出が阪神タイガースの優勝セールとは、幸運の持ち主である。もちろん「ご縁」の強さや「引き」の強さを持ち合わせているように感じるが、一番は取引先を大事にする櫻井彩子さんの人との取り組み方にあるだろう。

そんな盛り上がりを中継するテレビ

17日～23日まで開催される関西初の

写ったのはハイジュエリーを紹介す

POPOPも「宝石商 櫻井彩子」らしい

結果を導くに違いない。

阪神タイガースが圧倒的な強さを見せつけ、9月7日に史上最速でリーグ優勝を果たした。

翌8日からスタートした優勝セールは各店で盛り上がりを見せており、阪神百貨店には開店前から約3000人の大行列。万全の準備に2年前を越える来客数が押し寄せ期待が膨らんでいる。

そんな盛り上がりを中継するテレビ

17日～23日まで開催される関西初の

写ったのはハイジュエリーを紹介す

POPOPも「宝石商 櫻井彩子」らしい

結果を導くに違いない。

## 日本初のIGIによるラボグロウンドイヤモンドプロフェッショナルトレーニングに25名が参加 世界基準の知識を短期間で学べる貴重な機会



ラボグロウンドイヤモンドの知識はダイヤモンドジュエリーを扱うすべての企業にとって必要不可欠な時代になりつつある。

実際に、ラボグロウンドイヤモンドを取り扱う日本国内の企業やブランドは増加傾向にあり、消費者の認知も高まっている。

そうした中で、正確な知識と対応力

などの企業にとっても消費者の信頼

獲得に直結する重要な要素として、今

回受講した25名もラボグロウンドイヤモンドを取り扱う企業をはじめ、ラボ

グロウンドイヤモンドの知識を得たい

天然ダイヤモンド企業やジュエリーブ

ランド、そして個人事業主など多様

だった。

一般社団法人日本ラボラトリーグロ

ウンドイヤモンド協会は、日本国内にお

けるラボグロウンドイヤモンドの正しい

理解と消費者からの信頼構築を目的

として活動しており、今回のIGIとの取

り組みもその一環である。また同トレ

ーニングは、今後の業界において必要不

可となる知識を短期間で習得できる

貴重な機会と言える。

一般社団法人日本ラボラトリーグロウンドイヤモンド協会(代表理事:伊藤拓也)とIGI(International Gemological Institute)がパートナーシップを結び、日本初開催となる「IGI ラボグロウンドイヤモンド・プロフェッショナルトレーニング」を、8月7・8日の2日間、東京で開催し、25名が受講した。

同トレーニングは、IGIの専門講師による正式なプログラムで、天然ダイヤモンドを含む基礎知識からラボグロウンドイヤモンドの最先端生産技術、鑑別方法、グレーディング、変更処理、市場動向に至るまで、業界に必要な情報を網羅。2日間の集中型プログラムで学んだ世界基準の知識を身に付けた修了者には、IGIより公式修了証が発行された。

IGIによる専門性の証明を手にした者は、企業やブランドの信頼の証明として活用していくことになる。



## GIAに持ち込まれた偽造レーザー刻印のダイヤモンド

近年、ダイヤモンド取引市場の透明性の向上が進む一方で、依然として悪質な偽装行為が報告されている。

2024年秋号『Gems & Gemology』誌にはGIAドバイで発生した事例が紹介された。

GIAドバイのラボに持ち込まれたのは、アップデーターを求める四つのダイヤモンドだった。いずれもGIAの正式なグレーディングレポート番号と思わしきインクリプション(鑑定番号のレーザー刻印)が施されていた。

しかし、初見でラボの鑑定士が気付いたのは、フォントや配置の微妙な不一致。熟達した目でなければ見落としがちな偽造であったという。

該当するレポート情報との比較でも、サイズやカラーグレード、インクルージョンなど主要な特徴が「きわどく似せてはあるが、わずかな差異が識別された。

さらに決定的だったのは、赤外吸収分光(FTIR)による型分類(Type)。

元のレポート記載のダイヤモンドはいず

れもType Ia(集積窒素型)であったが、提出された石は全てType IIa(窒素ほぼ不含型)であり、明らかに“別物”であることが示された。

GIAはこうした偽造の発覚時、従来通りインクリプション番号に抹消線を施し(再利用不可とする)、新たなレポート番号を再発行する運用を行っている。

また、HPHT処理石には「TREATED COLOR」、ラボグロウンには「LABORATORY-GROWN」や専用ロゴによる明示的な刻印措置が取られている。

過去にも、まったくダイヤモンドではない素材(モアサナイト等)にGIAレポート番号を偽刻印し、市場投入を試みた例が複数報告されている。

外観検査だけでは判別困難なため、GIAが提供する「Match ID」デバイスのような物理的認証とデジタルレポート照合の重複要性が改めて浮き彫りとなつた。詳細はW&Jオンラインで確認を。



## ハリー・ウィンストン銀座移転オープン記念

ブランドの世界を多彩に体験できるコンテンツ登場

ハリー・ウィンストンは銀座店の移転オープンを記念し、8月22日よりブランドの世界観を体感できるLINEミニアプリ「The World of Harry Winston」をリリースした。

「キング・オブ・ダイヤモンド」と称されるハリー・ウィンストンは、1932年の創業以来、「宝石そのものに合わせてジュエリーのデザインが決まる」という信念のもと、比類なきクラフツマンシップと革新的なデザインで、世界中の人々から長年にわたり愛されている。

今回の銀座店移転オープンに際し、自宅でまた銀座店への来店の際にも楽しめるコンテンツを発表した。

同コンテンツでは、ハリー・ウィンストンのレガシーを体现するサロンをイメージしたビジュアルで、コンテンツ内の各フロアにて特別な体験を楽しめる。ブランドの歴史や創始者のエピソード、伝説級の宝石の数々、卓越したクラフツマンシップとこだわりのデザイン、広告アートなど、ハリー・ウ

ンストンの輝かしい軌跡を閲覧できるバーチャルミュージアム「偉大なるヘリテージ」ほか、スマートフォンで顔を撮影するとAIが特徴を認識・反映し、自身が主人公となって物語が進む、イラストレーター・水沢そら氏が手がける絵本コンテンツ「輝きの道標」など、ブランドの世界観を多彩な形で体感できるコンテンツが用意された。アプリのリリース期間は9月30日まで。

ハリー・ウィンストンは銀座店の移転オープンを記念し、8月22日よりブランドの世界観を体感できるLINEミニアプリ「The World of Harry Winston」をリリースした。

「キング・オブ・ダイヤモンド」と称されるハリー・ウィンストンは、1932年の創業以来、「宝石そのものに合わせて

ジュエリーのデザインが決まる」という

信念のもと、比類なきクラフツマンシップと革新的なデザインで、世界中の

人々から長年にわたり愛されている。

今回の銀座店移転オープンに際し、自

宅でまた銀座店への来店の際にも

楽しめるコンテンツを発表した。

同コンテンツでは、ハリー・ウィン

ストンのレガシーを体现するサロンをイ

メージしたビジュアルで、コンテンツ内

の各フロアにて特別な体験を楽しめ

る。ブランドの歴史や創始者のエピ

ソード、伝説級の宝石の数々、卓越

したクラフツマンシップとこだわりの

デザイン、広告アートなど、ハリー・ウ

ンストンの輝かしい軌跡を閲覧できるバーチャルミュージアム「偉大なるヘリ

テージ」ほか、スマートフォンで顔を撮

影するとAIが特徴を認識・反映し、自

身が主人公となって物語が進む、イラ

ストレーター・水沢そら氏が手がける

絵本コンテンツ「輝きの道標」など、ブ

ランドの世界観を多彩な形で体感で

きるコンテンツが用意された。アプリの

リリース期間は9月30日まで。

ハリー・ウィンストンは銀座店の移

転オープンを記念し、8月22日より

ブランドの世界観を体感できるLINE

ミニアプリ「The World of Harry

Winston」をリリースした。

ハリー・ウィンストンは銀座店の移

転オープンを記念し、8月22日より

ブランドの世界観を体感できるLINE

ミニアプリ「The World of Harry